

兵庫PTA

2026 1年生特別号



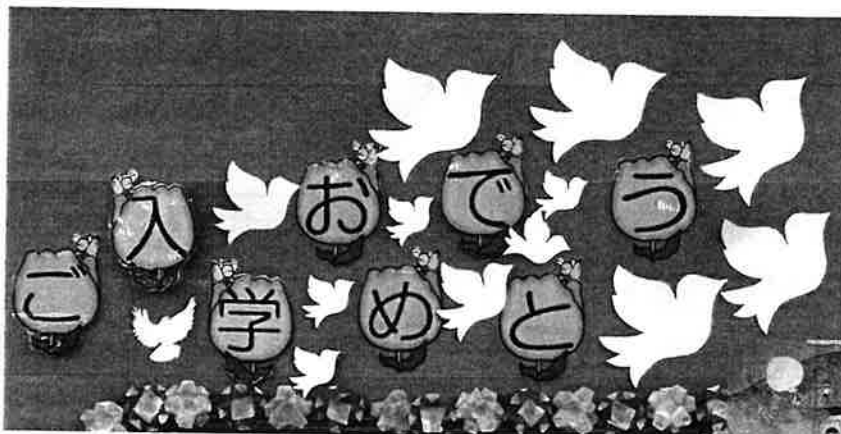
兵庫県PTA協議会

「ドキドキ」を「ワクワク」に

No. 610

— 入学おめでとう —

— 洲本市立大野小学校 —
3ページに記事



— 一年授業風景 —



— 入学式会場 —

小学一年生—読書への誘い

「音読」—その効果と意味は？

皆さんのお子さんの学校では、一年生の宿題に音読がありませんか？

音読の後には、音読カードに保護者の「聞いた」というサインと「元氣よく読めた」とかのコメントが求められます。

実は、言語活動の未熟な一年生にとって、音読には大きな意味があるのです。

家庭での大きな声での音読が、授業中の本読みや発表の態度につながります。

もちろん、それだけではありません。

先生方は、違った視点からも音読の効果、効用を期待されています。

小学校一年生が、もっとも多く時間をかけて学ぶ教科は国語で、その時間数は、次に多く学ぶ算数の二倍以上です。

子ども達が成長していくための意欲・興味・関心や態度が、国語つまり言葉を基盤にして育まれるとともに、豊かな言語力が形成されていきます。

どの教科にしろ、言葉を習得しなければ、学習は始まらないのです。

同じ内容の音読を数日続けて聞いていると、読み方が変わっていくことに、ふと気づくことがあります。

「今日の音読は、メリハリがあって、情景が浮かぶようだ」とか。

実は音読によって、子ども達の理解の深まりや認識の変化を知ることが出来ます。まだまだ幼い一年生にとって、短い時間ですが、音読は言語への理解の深まりを意図した効果的な宿題なのです。

音読は、やがて黙読—読書へと発展していきます。

子どもと一緒に、

ゆっくりに「1年生」

「ドキドキ」を「ワクワク」に

私が新1年生の子どもたちによく伝える言葉です。実はこの言葉、保護者の皆様、そして私たち教職員にも共通する大切な言葉だと思っています。

子どもは身近な大人を映す鏡です。周りの大人が不安そうにしていると、子どももそれを敏感に感じ取ります。だからこそ、まずは私たち大人が「新しい環境」や「違い」を楽しみ、一歩踏み出す姿を見せたいものです。

とはいえ、子育てに悩みはつきものです。「勉強についていけないかしら」「お友達となじめるかな」これらは、過去のアンケートでも多くの保護者の方が挙げられた共通の不安です。「こんなに心配して親として大丈夫だろうか」と、自分を責めてしまう方もいらっしゃるかもしれません。

でも、大丈夫です。お子様が6歳なら、お父さん・お母さんも「親になって6年目」です。私も親25年目ですが、我が子が社会人になった今でも、未だに不安や失敗の連続です。親もまた、子どもと一緒に成長していく途中の「未完成」な存在なのです。

今の時代、ネットやAIで調べ

ればすぐに「正解らしきもの」が見つかります。しかし、一番の支えになるのは、案外すぐそばにいる同じ1年生の保護者仲間だったりします。子どもが小学校という新しいステージに進むように、保護者の皆様も「小学校の保護者」という新しいステージの1年生。一人で抱え込まず、ぜひ周りと語り合ってみてください。親のつながり：小学校ならPTAです。保護者のつながりも就学前施設のつながりから広げてください。

今、教育現場では子どもの「心理的安全性（安心感）」が大切だと言われています。その土台となるのは、まず保護者の皆様の心が安定していることです。

「いざとなったら、大好きな親のもとに帰ればいい」そう思える安心感があるからこそ、子どもは自信を持って外の世界へ挑戦していきます。

お子様が新しいことを学び、少しずつ成長していくのと同じスピードで、保護者の皆様もゆっくりと「親」になっていけばよいと思います。

(川西市立牧の台小学校長

升村 誠志)

新入生の保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。本校でも、九十八名の新入生が学校生活のスタートを切りました。

昨今の社会状況の中で、子ども

たちの経験不足が顕著です。本校でも、校外活動や地域人材を招いての学習に取り組んでいます。時数の関係や日程調整の難しさなど、機会の確保が困難な状況です。

そのような中、有岡小学校PTAでは、子どもたちに、ご家庭でも学校でもなかなか用意できない経験の場をたくさん作っていただいていところとです。

一例を挙げますと、手持ち花火大会。有岡小学校区は駅に近い住宅地ということもあり、手持ち花火を楽しめる場所がなかなかありません。そこで、学校の運動場を使って、みんなで手持ち花火を楽しむというイベントを企画していただきました。PTAからの要請で消防団のみなさまにもご協力いただきました。最初は花火にどうやって火をつけたらよいのかわからなかった子どもたちが、次から次へといろいろな種類の花火に火を

まずはやってみよう!!

移し合い、歓声を上げて楽しむ姿がありました。

また、地域のお祭りの開催・継続が難しい中、「こどもフェス」と称し、子どもが主役のお祭りを企画してくださっています。その日は、舞台発表をする子どももあり、縁日の店番をする子どももあり、ピ

ンゴ大会を楽しむ子どももあり、工作ブースで製作を楽しむ子どももありとそれぞれが主体的に楽しむ姿がありました。私たち教員も「先

生バンド」として隠れた才能(一)を披露し、子どもや保護者の皆さんから拍手喝采をうけました。

学校だけ、家庭だけで子どもを育てるのは難しい時代です。今後PTAの皆さんと手を携えることによって、学校教育目標「自ら考え、未来を切り拓く子どもの育成」まずはやってみよう!の達成に努めてまいります。

(伊丹市立有岡小学校長

廣重久美子)



こどもフェス 先生バンド



花火大会



(県Pシンボルマーク)

未来にむかってはばたく
未来にむかってはばたく
こころ豊かでたくましい
こころ豊かでたくましい
ひょうごっ子

兵庫PTA協議会

組織と事業

“未来にむかってはばたく こころ豊かでたくましいひょうごっ子”を合言葉に私たちは子どもの健全育成に取り組んでいます。
新しく会員となられた皆様へ兵庫PTA協議会のことを知って頂くため組織と年間事業について紹介します。

目的

県下の公立小学校及び中学校のPTAが互いに協調し、児童生徒の健全な育成をはかるとともに、本県教育振興に寄与することを目的とする。

規約第2条

(事業)

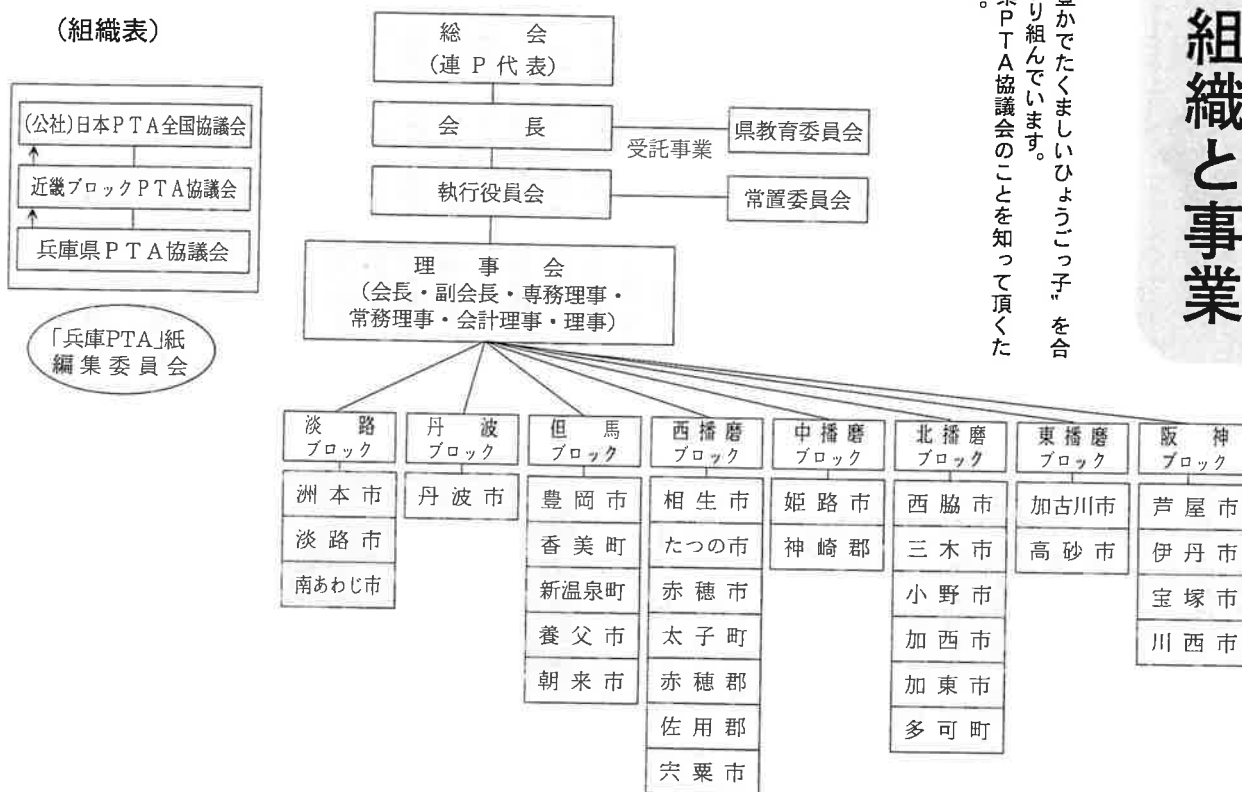
- (1) 単位PTA及び各地区のPTA連合体との相互の密接な連携協調に関する事
- (2) 学校教育の振興に関する事
- (3) 家庭及び社会教育の振興に関する事
- (4) 児童生徒の福祉に関する事
- (5) 関係機構・団体との連携に関する事
- (6) その他教育の振興に必要な事

規約第4条

○児童生徒の健全育成を目的とした連合組織

PTA活動は、単位PTAの活動が中心となりますが、問題の広域化・立体化に即した次の組織表のように連合組織となっています。

(組織表)



県Pのおもな事業予定

- ① 県P中央大会・PTCA全県フォーラムの実施
- 宝塚市立文化施設ソリオホール
- 令和8年12月19日(土)
- ② 第41回広報紙コンクールの実施
- ③ 第16回いじめ防止標語コンテストの実施
- ④ 機関紙「兵庫PTA」紙の発行
- ⑤ 広報紙「1年生特別号」
- 県下小学校1年生全保護者に無料配布
- ・兵庫県教育委員会と県P役員との教育懇談会
- ・日本PTA、近畿ブロックPTAの提唱事業への参加
- 第74回日本PTA全国研究大会第52回近畿ブロック研究大会奈良大会
- 令和8年8月21日・22日
- ・兵庫PTCA活動支援事業の実施(受託事業)
- ・その他 本会の目的を達成するための事業



いち はや く
189

児童相談所
全国共通
3ダイヤル

児童虐待かと思ったら
すぐにお電話をください。

主催 厚生労働省 内閣府



ひょうご地域安全SOSキャッチ電話相談を開設

日常生活の中で異変に気づいた際に、匿名でも気軽に通報できる電話相談窓口を、兵庫県と兵庫県警察が共同で開設しています。

内容に応じて県・市町専門相談機関や警察などに迅速・適切につなぐことにより、事件等の未然防止や早期発見を図ります。

電話番号 078-341-1324 (いざっほー)

開設日時 月～金曜日 9:00～16:00

(祝日、12/29～1/3を除く)※電話相談のみ